

2014. 5・5 ボランティア学習会

日時：2014年5月5日

場所：名取市閑上地区、植松入生仮設、愛島東部仮設



5月5日は、閑上日和山にある湊神社の春の例大祭です。震災前までは地域一番のお祭りが行われていました。屋台や神輿がでて大いに賑わったと聞いています。今は、閑上地域の方たちの再会の場となっているようです。尚綱では毎年この日にボランティアの学習会を兼ねた地域の方たちとの交流の場と位置づけ活動を行っています。



9時30分にJR名取駅に集合し、総勢20名がバス1台に乗り込み出発。「閑上の記憶」で語り部さんによる説明と展示物及び当時の模様を写したVTRで被災の様子を学習。その後、町内を見て周り津波被害の大きさを改めて確認。

閑上地域の方が住む「植松入生仮設」での交流会へ。



植松仮設では今年も秋田からのボランティアバンド「ブロンズ」が演奏のプレゼント。曲に乗って本学学生と仮設隣の野球場で練習している聖和学園の高校生とダンス合戦で盛り上がり、大きな笑いを巻き起こし楽しい交流会となりました。

尚綱が用意した「あんこパフェ」は大好評ですべてを完食しました。



閑上での学習会、植松入生と愛島東部仮設での交流会の写真を掲載します。

植松入生では、パフェの盛り付けや配達等で新入生が大活躍。テキパキとした活動ぶりは見事天晴れの花丸です。愛島東部仮設では本学先輩ボランティアグループが東部自治会と見事な連携を見せ、テント張り、餅つき、旗揚げと大車輪の活躍、こちら天晴れ。



震災直後から名取地域で励ましコンサートを行っている秋田本庄のバンド「ブロンズ」

活動後の振り返りについて
 愛島東部での活動の終了後は、増田の生涯学習センターで活動の振り返りを行いました。
 参加した学生から学習会に参加して被災の大きさや深刻さをあらためて確認し実態を知ることができた。被災者への寄り添い活動や支援の活動が多くの方の協力で続いていること。寄り添いや支援の活動は今後益々必要になっていること。などが話されました。